

「夢に挑む。」



TEAM TAKASE 2009全日本モトクロス選手権シリーズ参戦レポート 第4戦 中国大会

スポンサー様各位

TEAM TAKASE代表 田中教世

2009MFJ全日本モトクロス選手権シリーズ第4戦中国大会は、5月16～17日に広島県世羅郡世羅町のグリーンパーク弘楽園で開催されました。この大会に「グリーンクラブ TEAM TAKASE」からは、IA1クラスの田中教世、IA2クラスの加藤吏一と飯沼泰裕、IBクラスの倉田 翔の4名が出場しました。田中、倉田に加え、シーズンオフに怪我をし、開幕から欠場していた加藤吏一が今季初レースを、また第2戦近畿大会の事前練習で負傷し欠場が続いていた飯沼泰裕も、今回復帰戦を迎えることが出来、ようやくチーム全員が揃って出場出来ることになりました。

第3戦関東大会から約1カ月のインターバルを置いて行われた中国大会。会場のグリーンパーク弘楽園は、TEAM TAKASEの本拠地、兵庫県三田市から比較的近く、第2戦近畿大会に続く地元でのラウンドとなります。天候は、予選が行われた土曜日が曇り。日曜日は曇り後雨で、朝降り始めた雨が日中降り続き、大会終了と同時に天気が回復するという生憎の空模様となりました。

会場のグリーンパーク弘楽園は、ビッグジャンプやロングフープスなど、見応えのあるダイナミックなレイアウトが特徴。路面は元々硬質ですが、ハードパックの上に積もった土埃が雨が濡らしたため非常に滑り易く、また午後のレースは雨の影響で完全なマディコンディションとなりました。この大会には公式発表で11000人の観客が訪れました。また、今回もTEAM TAKASEのサポーターの皆様や、ファンの皆様、スポンサー様にも大勢来ていただき、コーデサイドからの声援や、力強い応援に後押しされてレースに臨むことができました。

IA1クラスに参戦する田中教世は、カワサキワークスチーム「K.R.T.」のピンチヒッターとして、今大会もワークスマシンKX450F-SRで出場しました。ワークスマシンでの参戦は責任も重大ですが、ポテンシャルの高いマシンでレースに出場出来ること、開発に貢献できることを嬉しく思っています。チャンスをくれたカワサキに改めて感謝する次第です。

予選。IA1クラスの田中は、第2戦で負傷した手の怪我がまだ完治していないにもかかわらず、スタートからトップ争いを演じ、5番手で決勝進出を果たしました。IA2の加藤はA組11番手で予選をクリア。飯沼はB組21位で決勝進出は果たせませんでした。倉田はIB2クラスがB組の25番手で予選落ちとなりましたが、午後のIB OpenはA組8番手で22番グリッドからの決勝進出を果たしました。

IA1クラス決勝。田中は手の痛みとハンドルをホールド出来ない状況ながら上位で力走を見せ、ヒート5-8位でフィニッシュ、総合6位入賞を果たしました。IA2の加藤は、第1ヒートは苦戦したものの、第2ヒートでは鋭い追い上げを見せ16-7位、総合10位で無事復帰戦を終えました。IB Openクラス決勝に臨んだ倉田は、最終レースで荒れたコンディションの中力走し、12位でチェッカーを受けました。

田中、加藤は依然怪我の影響を残しており、また雨の決勝レースでかなりの苦戦を強いられましたが、そんな状況でも現状持てる力を尽くして走りきることが出来ました。一方で、予選通過を果せなかった飯沼はもちろん、それぞれに課題が残る結果でもありました。序盤の戦いを終えて、シーズンは中盤戦へと突き進みます。TEAM TAKASEは一丸となって、より良い結果を目指します。引き続き、応援をお願いします。



IA1 #5 田中教世

第3戦が終わってすぐに手術を受け、今大会に挑んだのですが、前回よりは良くなってきているものの、まだまだ完治に至りませんでした。予選、ヒート1とホールショットで出たのに、トップのスピードを維持する事が出来ず、徐々に後退してしまいました。

ヒート2はスタートで出遅れてしまい、その後も中々追いつけることが出来ず8位でした。

今回はカワサキのテストコースでのレースということもあり、表彰台を狙っていたので、それが果せず本当に悔しいです。スポンサー様やファンの皆様、すみませんでした。次こそは表彰台に上られるように頑張ります。応援よろしくをお願いします。

IA2 #555 加藤吏一

ようやく怪我から復帰し TEAM TAKASE の一員として今シーズン初めてのレースに臨んだんですが、土曜日から今まで経験したことがないくらい緊張してしまいました。

特に土曜日の公式練習では、周りのライダーが速く思えて、余計に自分の走りが出来ませんでした。それでも予選、決勝前のフリー走行、ヒート1、ヒート2と徐々にレース感が戻ってきて、第2ヒートは今の状態にしては、まずまずの内容で締めくくれたと思います。

とは言え、結果は全く満足できるものではありません。次の SUGO までにさらに練習して、自分本来の走りが出来るよう、一歩一歩上を目指していきます。

IA2 #82 飯沼泰裕

開幕戦以来のレース。足の怪我はほぼ完治し、ゴールデンウィーク辺りからバイクに乗ることが出来るようになりました。結果、今回からレースに復帰することが出来ました。

復帰戦ですが、予選のスタートは中盤辺りで、それほど悪くなかったのですが、後半ペースが上がらずポジションを落としてしまい、決勝に進むことが出来ませんでした。何が足りないのか、どこが弱いのかしっかり考え、トレーニングと練習に励みたいと思います。スポンサー様始め、監督、チームスタッフ、支えてくれる皆様、期待に応えることが出来ず申し訳ありませんでした。次はしっかりとがんばりますので、宜しくお願いします。

IB Open/IB2 #36 倉田 翔

IB2 は、スタートから全くいいところなく予選落ちしてしまいました。

IB Open は予選をクリアし、決勝はスタート7～8番手で出たんですが、2周目に転倒。再スタートしたものの最後尾からの追い上げとなってしまいました。最終レースでコンディションが悪く、ラインも1、2本しかなくて、なかなか前のライダーを抜く事が出来ませんでした。焦っている間に時間が過ぎ、その結果12位でチェッカーを受けました。

予選を片方落とし、決勝で転倒するというパターンが続いています。今回の菅生はそうならないように、気を引き締めて、やるべき事をやってレースに備えたいです。

第5戦SUGO大会は、6月13～14日に宮城県のスポートランドSUGOで開催されます。